

第6学年「図画工作」学習指導案

授業者 堀井 武彦

2月22日（金）2階アトリエ 10:00～10:40 話し合い10:55～11:45

1 題材名 Imagine(思いえがいてみよう) -アートの寄せがき-

2 題材について

本題材名「Imagine (イマジン)」は、言うまでもなく、1971年に発表されたジョン・レノンの楽曲のタイトルである。卒業を目前に控えた6年生の今、そして明日のことを「思いえがいてみよう」と呼びかけてみたいと考えた授業者の素朴な思いを起点とした題材である。そして、図画工作の学習を通して「お茶小百景」→「お茶の水焼き」→「12年後のわたし」→「ドリームプラン」へと、主題の対象を個人から社会へと広げ、卒業に向けた気持ちづくりを促す意図を埋め込んだ活動に取り組みの総括として本題材を設定した。同時に、自分から世界へと主題の対象を広げた後、再度、自分の心情と向き合う「てつがく」の活動という含意もある。

本題材は、天井から吊るした養生シートに透過性のある材料や描画材で絵に表す活動である。しかし、自分の今を「思いえがいてみよう」という問いかけだけでは漠然としているので、「アートの寄せがき」という副主題を加えた。一般的に「寄せ書き」は、記念日や送別の際、友人・知人への思いを言葉託して記するわけであるが、自分の気持ちを慣例句にあてはめる傾向も少なくない。そこで、言葉では表しきれないイメージを形や色で表現することで慣習を問い直す造形的な学びの「てつがく」として活動することを構想した。既習事項として第5学年「心のもよう」において、モダンテクニックで表現した模様の偶然性と感情を結びつける鑑賞の能力が生かされることを期待するが、表現活動としては、吊るされた透過性の養生シートという場に働きかける能動性が起点となるので難易度は増すことになる。表現形式として大画面の「ステンドグラス」に収斂しないよう支援する心づもりである。

3 学習指導計画（1時間目／全2時間）

第1次 養生シートを「自分の今」の空間と見立てて構想を練る。（本時・1時間）

第2次 透過性材料を使って、自分の今のイメージを表現する。

第3次 ファミリー内で協働して、養生シート全体の構成やイメージについて対話しながら進める。

第4次 各自が活動の題名と活動に込めた思い等をカードにまとめて貼り、学級内で相互鑑賞を行う。

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

・養生シートを自分の今、明日の空間と見立て、発想したことを透過性材料で表現することを楽しむ。

(2) 予想される本時の展開

| 主な学習活動と子どもの姿 | 留意点 |
|---|--|
| 1 養生シートを「自分の今」と見立てて構想を練る。 | ・吊るした養生シートを外して活動してもよいことを伝える。ただし、折に触れ、吊るして全体の感じを意識しながら活動することを促す。 ・養生シートを切ったり、穴をあけたりしても良いことを伝える（ただし面積は担保する）。 ・透過性材料の特色を生かした表現を工夫するように促す。 |
| 2 透過性材料を使って、「自分の今」の心情イメージを表現する。 | |
| 3 養生シートのどの面（片面 or 両面）のイメージで表現するかを意識する。 | |
| 4 養生シートに切り込みを入れたり、穴をあけたりするなど工夫し、徐々に、シート全体の感じや構成も意識しながら活動を進める。 | |

□授業後の話し合いで話題にしたいこと

「自分の今」の心情のイメージをとらえ、透過性材料で表現することを楽しんでいたか。